



豊間根信議員

住民協働

住民協働の成果と今後の展開

積極的に協働の町づくり

質問 住民協働推進室設置後の住民協働の施策成果とその検証と今後の施策は。

沼崎町長 8団体へ約127万円の補助金を決定し、それぞれ事業を進めている。成果については、新しい制度であること、対象についても戸惑った点もあつたこと、年度途中であることから検証はしていない。

質問 NPO法人の自発的発生が望ましいが、伸び悩んでいる現状を踏まえ、今後育成していくための施策は。

沼崎町長 県の振興局単位で説明などを行っているので町広報などでもその都度

周知していく。法人の設立は住民の自律・自主的な意思や活動が基本であるが、住民からの設立相談があれば支援していく。

質問 待っていたのでは進展が望めないのでは。

横田総務課長 積極的に周知し、それぞれの理解度を深めながら協働の町づくりをしていかなければならないと考える。

質問 執行部・職員が意識を持って住民との協働を真剣に考えなければ住民の理解は得られないのでは。

横田総務課長 ご指摘のとおり努力していきたい。

情報化推進

「光通信網」豊間根・船越への整備

全域普及を目指し要望活動する

質問 光通信網の豊間根・船越地区への整備はどうなっているか。

沼崎町長 NTT東日本が整備しているが、採算ペーすなどを考えると市街地の整備が優先となる。光ファイ



長林自治会による国道45号脇の花壇整備の様子（船越地区）

町の考えを聞く

ことを望んでいる。通信インフラ整備が進んでいないと企業誘致活動もマイナスではないか。

沼崎町長 町としても町内全域で利用できるよう今後も要望活動をしていく。

質問 地域で要望活動をすれば整備は早まるのか。

横田総務課長 今回の市街地への整備においても、商工会の協力もあり早まったと思うので可能性はあるかもしれない。また、今後の光回線利用・普及の進度によつて早まる可能性もあると思う。

バー用機械の收容施設がないのも要因である。

質問 今後、病気の遠隔診断や難視聴対策などインフラ整備は重要である。豊間根地区のコネクタ―関連企業なども早期に整備される